

母性看護学実習

単
位
数

2

時
間
数

90

3年次 5月～10月開講

I. 目的

周産期にある母子とその家族を理解し、対象に応じた看護が実践できる能力を養う。

II. 目標

1. 母性看護の対象を理解する。
2. 周産期にある対象への生活に根ざした看護を実践する。
3. 周産期の看護を通して母性を取りまく保健医療福祉チームの役割と連携を理解する。

実習評価

出席状況、実習内容、実習記録、実習態度を総合的に評価する。

学習上の留意点

この科目の受講にあたっては、以下の前提科目の履修が要件となる。

- | | |
|-----------|------------|
| 基礎看護学実習 2 | 母性看護学方法論 1 |
| 母性看護学概論 | 母性看護学方法論 2 |
| | 母性看護学方法論 3 |